

試 験 地	受 験 番 号	氏 名

〔受験地変更者は上欄のほか、本日の受験地と仮受験番号を記入してください。〕
 本日の受験地 _____ 仮受験番号 仮-

平成 26 年度

2級電気工事施工管理技術検定試験

学科試験問題

〔注 意 事 項〕

1. ページ数は、表紙を入れて 25 ページです。
2. 試験時間は、10 時 30 分から 13 時までです。
3. 解答は、下記によってください。
 - 1) [No. 1]～[No. 12]までの 12 問題のうちから、8 問題を選択し、解答してください。
 - 2) [No. 13]～[No. 32]までの 20 問題のうちから、11 問題を選択し、解答してください。
 - 3) [No. 33]～[No. 38]までの 6 問題のうちから、3 問題を選択し、解答してください。
 - 4) [No. 39]の問題は、必ず解答してください。
 - 5) [No. 40]～[No. 52]までの 13 問題のうちから、9 問題を選択し、解答してください。
 - 6) [No. 53]～[No. 64]までの 12 問題のうちから、8 問題を選択し、解答してください。
4. 選択問題の解答数が指定数を超えた場合は、減点となります。
5. 解答は、別の解答用紙に、HBで黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
それ以外のボールペン・サインペン・色鉛筆などを使用した場合は、採点されません。
6. 問題は、四肢択一式です。正解と思う肢の番号を次のマーク例にしたがってぬりつぶしてください。

マーク例	<input checked="" type="radio"/> ぬりつぶし
------	--

7. マークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
消しかたが十分でないと指定数を超えた解答となり、減点となります。
8. 解答用紙は、雑書きしたり、よごしたり、折り曲げたりしないでください。
9. この問題用紙の余白を、計算などに使用することは自由です。
10. この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。
途中退席者や希望しない方の問題用紙は、回収します。

※ 問題番号 [No. 1]～[No.12] までの 12 問題のうちから、8 問題を選択し、解答してください。

[No. 1] 図のような、金属導体 B の抵抗値は、金属導体 A の抵抗値の**何倍**になるか。

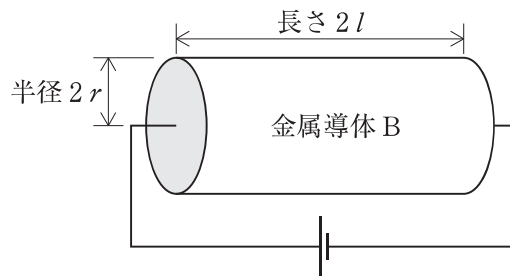
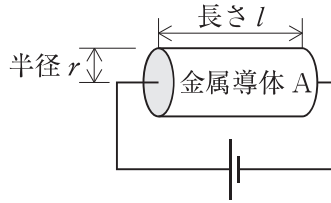
ただし、金属導体の材質及び温度条件は同一とする。

1. $\frac{1}{8}$ 倍

2. $\frac{1}{4}$ 倍

3. $\frac{1}{2}$ 倍

4. 1 倍



[No. 2] 図のような環状鉄心に N_1 , N_2 のコイルがあるとき、 N_1 の巻数を $\frac{1}{2}$ 倍、 N_2 の巻数を 4 倍にすると、相互インダクタンスは**何倍**になるか。

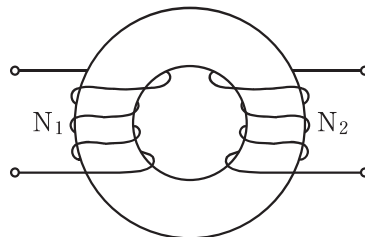
ただし、鉄心には飽和、ヒステリシスの現象がなく、その透磁率は一定であり、磁束の漏れはないものとする。

1. 1 倍

2. 2 倍

3. 4 倍

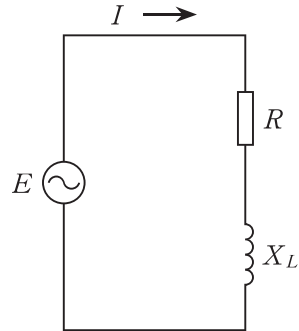
4. 8 倍



[No. 3] 図に示す単相交流回路の電流 I [A] の実効値として、**適当なもの**はどれか。

ただし、電圧 E [V] の実効値は 200 V とし、抵抗 R は 4 Ω 、誘導性リアクタンス X_L は 3 Ω とする。

1. 8 A
2. 20 A
3. 29 A
4. 40 A

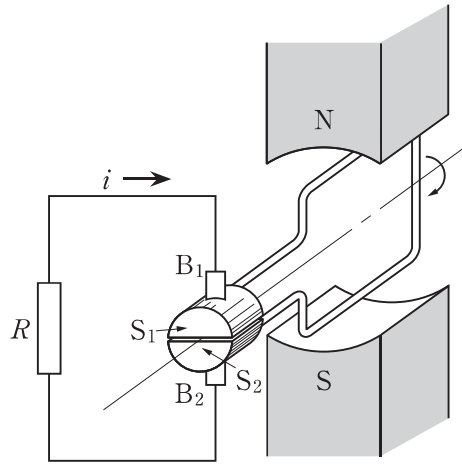


[No. 4] 単相 2 線式の定格電圧 100 V の誘導形電力量計が、電圧 100 V 電流 10 A 力率 0.6 の回路に接続されているとき、円板が 1 000 回転する時間として、**正しいもの**はどれか。

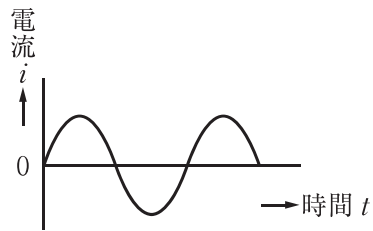
ただし、電力量計の計器定数(1 kW·h 当たりの円板の回転数)は 2 000 rev/kW·h とする。

1. 18 分
2. 20 分
3. 30 分
4. 50 分

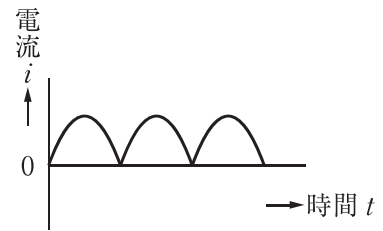
[No. 5] 図に示す発電機の原理図において、磁界中でコイルを一定の速度で回転させたとき、抵抗 R に流れる電流 i の波形として、**適当なもの**はどれか。
ただし、 S_1 と S_2 は整流子、 B_1 と B_2 はブラシとする。



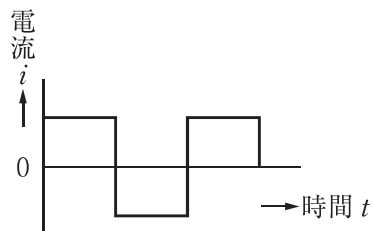
1.



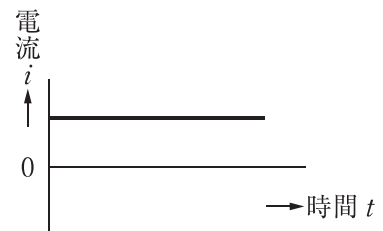
2.



3.



4.



[No. 6] 三相変圧器の結線の組合せのうち、**並行運転ができないもの**はどれか。

1. $\Delta - Y$ 結線と $\Delta - Y$ 結線
2. $Y - Y$ 結線と $Y - Y$ 結線
3. $\Delta - \Delta$ 結線と $Y - Y$ 結線
4. $\Delta - \Delta$ 結線と $Y - \Delta$ 結線

[No. 7] 直列リアクトルと組み合わせて用いる三相高圧進相コンデンサの定格電圧として、
「日本工業規格(JIS)」上、**定められているものはどれか。**
ただし、回路電圧は6 600 V、直列リアクトルのリアクタンスは6 %とする。

1. 6 230 V
2. 6 600 V
3. 7 020 V
4. 7 200 V

[No. 8] 汽力発電所の熱効率の向上対策として、**不適当なものはどれか。**

1. 再生サイクルを採用する。
2. 復水器の真空度を高くする。
3. タービン入口の蒸気の圧力を低くする。
4. ボイラの燃焼用空気を排ガスで予熱する。

[No. 9] 電力系統において無効電力を調整する目的として、**不適当なものはどれか。**

1. 電圧変動の抑制
2. 送電電力の増加
3. 送電損失の軽減
4. 短絡容量の軽減

[No. 10] 配電系統の需要諸係数に関する用語として、次の計算により**求められるものはどれか**。

$$\frac{\text{最大需要電力 [kW]}}{\text{設備容量 [kW]}} \times 100 [\%]$$

1. 需要率
2. 不等率
3. 負荷率
4. 利用率

[No. 11] 事務所の部屋に対する基準面における維持照度の推奨値として、「日本工業規格(JIS)」の照明設計基準上、**誤っているものはどれか**。

1. 事務室 750 lx
2. 応接室 500 lx
3. 会議室 300 lx
4. 倉庫 100 lx

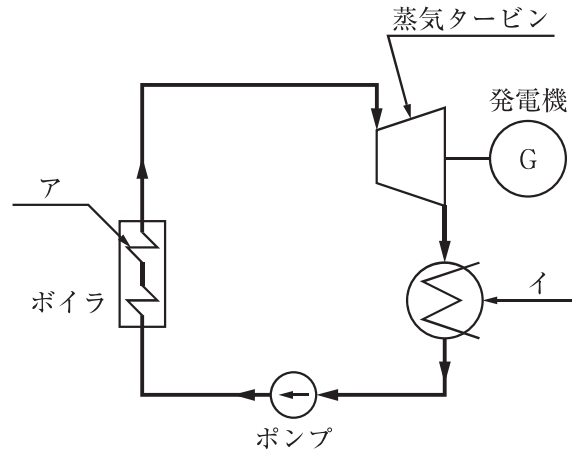
[No. 12] 三相誘導電動機に関する記述として、**不適当なものはどれか**。

1. 滑りが減少すると、回転速度は遅くなる。
2. 周波数を高くすると、回転速度は速くなる。
3. 極数が少ないと、回転速度は速くなる。
4. 負荷が増加すると、回転速度は遅くなる。

※ 問題番号 [No.13]～[No.32] までの 20 問題のうちから、11 問題を選択し、解答してください。

[No. 13] 図に示す汽力発電の熱サイクルにおいて、アとイの名称の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- | | ア | イ |
|----|-----|-----|
| 1. | 過熱器 | 復水器 |
| 2. | 過熱器 | 節炭器 |
| 3. | 再熱器 | 復水器 |
| 4. | 再熱器 | 節炭器 |



[No. 14] 変電所の油入変圧器の騒音に関する記述として、**不適當なもの**はどれか。

1. 変圧器の騒音には、電磁力で巻線に生じる振動による通電騒音がある。
2. 変圧器の騒音には、磁気ひずみなどで鉄心に生じる振動による励磁騒音がある。
3. 鉄心に高配向性けい素鋼板を使用することは、騒音対策に有効である。
4. 鉄心の磁束密度を高くすることは、騒音対策に有効である。

[No. 15] 過電流継電器の限時特性に関する記述として、**不適當なもの**はどれか。

1. 瞬限時特性は、動作時間に特に限時作用を与えないものである。
2. 定限時特性の動作時間は、動作電流の大きさに関係なく一定である。
3. 反限時特性の動作時間は、動作電流が大きくなると長くなる。
4. 反限時定限時特性は、ある電流値までは反限時特性、それ以上では定限時特性を示す。

[No. 16] 架空送電線路に関する次の文章に該当する機材の名称として、**適当なもの**はどれか。

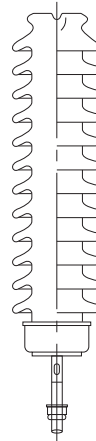
「懸垂クランプ付近の電線の外周に巻きつけて補強するもので、振動による電線の素線切れなどを防止する。」

1. スパイラルロッド
2. アーマロッド
3. スペーサ
4. ダンパ

[No. 17] 送電線路に関する次の文章に該当するがいしの名称として、**適当なもの**はどれか。

「鉄構や床面に直立固定する図のような構造で、電線を磁器体頭部に固定して使用する。」

1. 懸垂がいし
2. 長幹がいし
3. ラインポストがいし
4. スモッグがいし



[No. 18] 地中送電線路における電力ケーブルの電力損失として、**不適當なもの**はどれか。

1. 抵抗損
2. 誘電損
3. シース損
4. コロナ損

[No. 19] 高圧配電系統の機器等に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

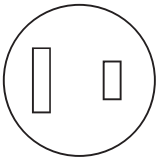
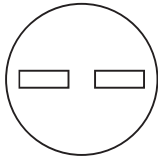
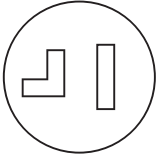
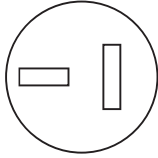
1. 高圧配電線の短絡保護には、過電流継電器が用いられる。
2. 高圧配電線の地絡保護には、漏電遮断器が用いられる。
3. 高圧配電線路の事故区間の切り離しには、区分開閉器が用いられる。
4. 柱上変圧器の一次側の短絡保護には、高圧ヒューズが用いられる。

[No. 20] 電気事業者が供給する電気の電圧に関する次の文章中、 に当てはまる数値として、「電気事業法」上、定められているものはどれか。
ただし、卸電気事業者及び特定規模電気事業者を除く。

「標準電圧 200 V の電気を供給する場所において、供給する電気の電圧の値は、202 V の上下 V を超えない値に維持するように努めなければならない。」

1. 8
2. 10
3. 18
4. 20

[No. 21] 単相 200 V 回路に使用する定格電流 15 A のコンセントの極配置として、「日本工業規格 (JIS)」上、適当なものはどれか。

1. 
2. 
3. 
4. 

[No. 22] 三相誘導電動機に用いる低圧進相用コンデンサに関する記述として、「内線規程」上、**不適当なもの**はどれか。

ただし、低圧進相用コンデンサは、個々の電動機の回路ごとに取り付けるものとする。

1. 電動機と並列に接続された低圧進相用コンデンサに至る電路に開閉器を設ける。
2. 低圧進相用コンデンサは、放電抵抗器付のものを使用する。
3. 低圧進相用コンデンサは、手元開閉器よりも電動機側に接続する。
4. 低圧進相用コンデンサの容量は、電動機の無効分より大きくしない。

[No. 23] 屋内配線の電気方式として用いられる中性点を接地した単相3線式100/200 Vに関する記述として、**不適当なもの**はどれか。

1. 使用電圧が200 Vであっても、対地電圧は100 Vである。
2. 同一の負荷に供給する場合、単相2線式100 Vに比べて電圧降下が小さくなるが、電力損失は大きくなる。
3. 中性線と各電圧線の間接続する負荷容量の差は大きくなるようにする。
4. 3極が同時に遮断される場合を除き、中性線には過電流遮断器を設けない。

[No. 24] 高圧受電設備の用語の定義として、「高圧受電設備規程」上、**不適当なもの**はどれか。

1. 主遮断装置とは、受電設備の受電用遮断装置として用いられるもので、電路に過負荷、短絡事故などが生じたときに、自動的に電路を遮断する能力をもつものをいう。
2. 受電設備容量とは、受電電圧で使用する変圧器、電動機などの機器容量の合計をいい、高圧進相コンデンサも含む。
3. 短絡電流とは、電路の線間がインピーダンスの少ない状態で接触を生じたことにより、その部分を通じて流れる電流をいう。
4. 地絡電流とは、地絡によって電路の外部に流出し、電路、機器の損傷など事故を引き起こすおそれのある電流をいう。

〔No. 25〕 高圧交流遮断器と比較した高圧限流ヒューズの特徴に関する記述として、**不適當なもの**はどれか。

1. 小形で遮断電流が大きなものができる。
2. 小電流範囲の遮断に適している。
3. 短絡電流を高速度遮断できる。
4. 限流効果が大きい。

〔No. 26〕 蓄電池に関する記述として、**不適當なもの**はどれか。

1. 据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池は、据置鉛蓄電池に比べて高率放電特性がよい。
2. 据置鉛蓄電池は、極板の種類によりクラッド式とペースト式に分類される。
3. 据置鉛蓄電池は、据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池に比べて低温特性がよい。
4. 制御弁式据置鉛蓄電池(MSE形)は、通常の条件下では密閉状態である。

〔No. 27〕 需要場所に施設する地中電線路に関する記述として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、**不適當なもの**はどれか。

ただし、地中電線路の長さは、15 m を超えるものとする。

1. 低圧地中電線と高圧地中電線との離隔距離を 15 cm 以上確保して施設した。
2. 管路式の高圧地中電線路には、電圧の表示を省略した埋設表示シートを施設した。
3. ハンドホール内のケーブルを支持する金物類には、D種接地工事を施さなかった。
4. 低圧地中電線と地中弱電電線との離隔距離を 30 cm 以上確保して施設した。

[No. 28] 厨房に設ける自動火災報知設備の感知器として、「消防法」上、**適当なもの**はどれか。

1. 差動式スポット型感知器
2. 差動式分布型感知器
3. 補償式スポット型感知器
4. 定温式スポット型感知器

[No. 29] 防火対象物に設置する非常ベルに関する記述として、「消防法」上、**誤っているもの**はどれか。

ただし、防火対象物には自動火災報知設備が設置されていないものとする。

1. 非常ベルは、避難設備である。
2. 非常ベルの設置は、防火対象物の区分や収容人員などにより決められる。
3. 非常ベルには、非常電源を附置しなければならない。
4. 非常ベルの起動装置の直近の箇所に、赤色の表示灯を設けなければならない。

[No. 30] 次の文章に該当する構内情報通信網(LAN)を構成する機器として、**最も適当なもの**はどれか。

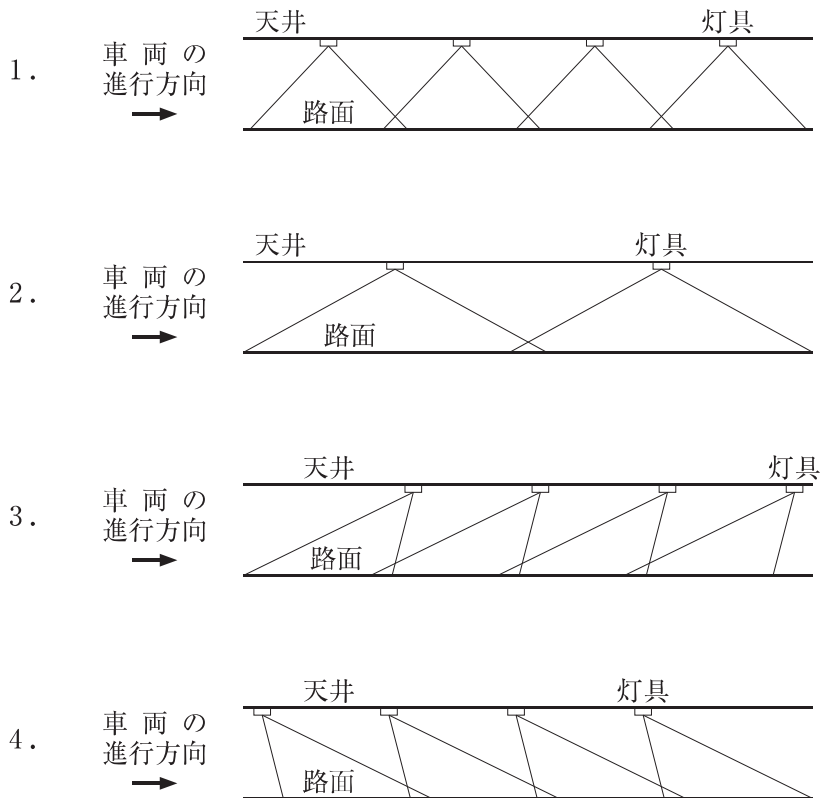
「UTP ケーブルと光ファイバケーブル間での変換を主たる機能とする装置」

1. メディアコンバータ
2. スイッチングハブ
3. リピータハブ
4. ルータ

[No. 31] 電気鉄道の電車線路設備に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 線路の交差箇所では、パンタグラフ通過時にトロリ線相互が上下に離れないように振止金具を設置する。
2. トロリ線は、通電特性、機械強度特性、摩耗特性などの条件を満たす必要がある。
3. 鋼管柱・鉄柱は、同じ強度のコンクリート柱に比べて、軽量で耐震性が高い。
4. 区分装置は、事故や保守作業のときに電氣的に系統区分ができるようにした絶縁装置である。

[No. 32] 図に示すトンネル内の照明方式のうちプロビーム照明方式として、適当なものはどれか。



※ 問題番号〔No.33〕～〔No.38〕までの6問題のうちから、3問題を選択し、解答してください。

〔No. 33〕 換気方式に関する記述として、**不適當なもの**はどれか。

1. 自然換気は、温度差や風を利用する換気方式である。
2. 第1種換気方式は、電気室の換気に用いられる。
3. 第2種換気方式は、厨房の換気に用いられる。
4. 第3種換気方式は、便所の換気に用いられる。

〔No. 34〕 アスファルト舗装と比較したコンクリート舗装に関する記述として、**最も不適當なもの**はどれか。

1. 施工後の養生期間が長い。
2. 部分的な補修が困難である。
3. 膨張や収縮によるひび割れを防ぐため、目地が必要である。
4. せん断力に強いが曲げ応力に弱いので、沈下しやすい。

〔No. 35〕 水準測量に関する用語として、**関係のないもの**はどれか。

1. 基準面
2. 水平面
3. 移器点
4. トラバース点

[No. 36] 土留め壁に用いる鋼矢板工法において、鋼矢板の施工方法として、**不適当なもの**はどれか。

1. デイープウェル工法
2. プレボーリング工法
3. 振動工法
4. 圧入工法

[No. 37] 鉄道における線路線形の曲線に関する記述として、**不適当なもの**はどれか。





1. 直線と円曲線の間には、曲率が連続的に変化するように緩和曲線が挿入される。
2. 曲線は平面曲線と縦曲線に大別され、反向曲線は縦曲線に含まれる。
3. 半径の異なる同一方向の曲線が連続する曲線を、複心曲線という。
4. 円曲線の曲線半径の決定要素には、曲線通過速度やカント不足量がある。

[No. 38] コンクリート工事における施工の不具合として、**関係のないもの**はどれか。

1. ブローホール
2. 豆板(じゃんか)
3. 砂じま
4. コールドジョイント

※ 問題番号 [No.39] の問題は、必ず解答してください。

[No. 39] 自動火災報知設備の配線用図記号と名称の組合せとして、「日本工業規格(JIS)」上、誤っているものはどれか。

- | | 図記号 | 名 称 |
|----|---|--------------------|
| 1. |  | 定温式スポット型感知器 |
| 2. |  | 警報ベル |
| 3. |  | P 型発信機 |
| 4. |  | 機器収容箱(消火栓箱に組込みの場合) |

※ 問題番号 [No.40]～[No.52] までの 13 問題のうちから、9 問題を選択し、解答してください。

[No. 40] 太陽光発電システムの施工に関する記述として、**不適当なもの**はどれか。

1. 太陽電池アレイの電圧測定は、晴天時、日射強度や温度の変動が少ないときに行った。
2. 太陽電池モジュールの温度上昇を抑えるため、勾配屋根と太陽電池アレイの間に通気層を設けた。
3. 感電を防止するため、配線作業の前に太陽電池モジュールの表面を遮光シートで覆った。
4. 雷が多く発生する地域であるため、耐雷トランスをパワーコンディショナの直流側に設置した。

[No. 41] 架空電線路の施工に関する記述として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、**不適当なもの**はどれか。

ただし、高圧電線と低圧電線は、同一支持物に施設するものとする。

1. 高圧ケーブルの被覆に使用する金属体に、D種接地工事を施した。
2. 架空電線の分岐接続は、電線に張力が加わらないように電線の支持点で行った。
3. 高圧架空電線に屋外用ポリエチレン絶縁電線(OE)を使用し、低圧架空電線の下に施設した。
4. 高圧架空電線から柱上変圧器への配線に、高圧引下用架橋ポリエチレン絶縁電線(PDC)を使用した。

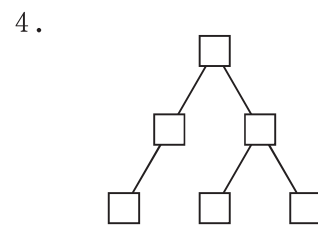
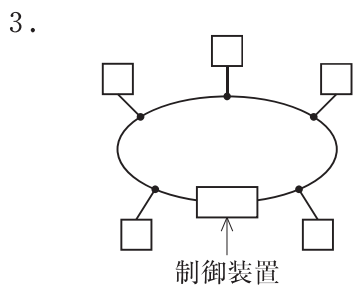
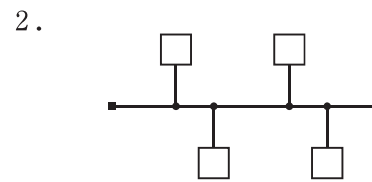
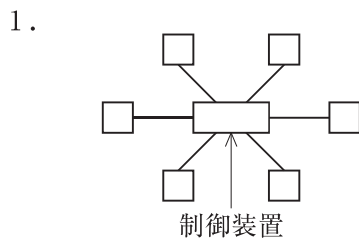
[No. 42] 低圧屋内配線に関する記述として、「内線規程」上、**不適当なもの**はどれか。

1. 金属ダクト配線に、ビニル電線(IV)を使用した。
2. 金属線び及びその附属品に、D種接地工事を施した。
3. ビニルケーブル(VVF)を、二重天井内で張力が加わらないように施設した。
4. ライティングダクトを、壁や二重天井を貫通して施設した。

[No. 43] 電気鉄道における架空式電車線路の施工に関する記述として、**不適当なもの**はどれか。

1. 電車線を支持する可動ブラケットの絶縁には、長幹がいしを用いた。
2. ちょう架線のハンガ取付箇所には、保護カバーを取り付けた。
3. トロリ線相互の接続は、パンタグラフの通過に支障がないように、圧縮接続管を使用した。
4. 直線区間のトロリ線は、パンタグラフの溝摩耗を防止するために、左右ジグザグに偏位をつけた。

[No. 44] 構内情報通信網(LAN)のネットワークトポロジの物理的な分類において、バス形を示す図として、**適当なもの**はどれか。



[No. 45] 公共建築工事の設計図書間に相違がある場合に、一般的に優先順位の最も高いものとして、**適当なもの**はどれか。

1. 質問回答書
2. 特記仕様書
3. 標準仕様書
4. 図面(設計図)

[No. 46] 法令に基づく申請書等と提出先等の組合せとして、**誤っているもの**はどれか。

申請書等	提出先等
1. 建築基準法に基づく「確認申請書(建築物)」	建築主事又は 指定確認検査機関
2. 労働安全衛生法に基づく「機械等設置届」	所轄労働基準監督署長
3. 道路交通法に基づく「道路使用許可申請書」	所轄警察署長
4. 電波法に基づく「高層建築物等予定工事届」	国土交通大臣

[No. 47] 工程管理の一般的な手順として、**適当なもの**はどれか。

ただし、ア～エは手順の内容を示す。

- ア : 計画した工程と進捗の比較
イ : 作業の実施
ウ : 月間・週間工程の計画
エ : 工程計画の是正処置

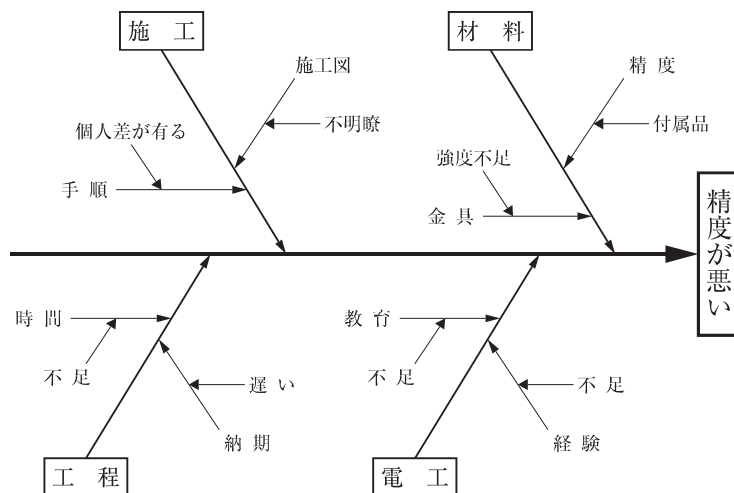
1. ア → ウ → エ → イ
2. ア → ウ → イ → エ
3. ウ → イ → ア → エ
4. ウ → イ → エ → ア

[No. 48] バーチャート工程表と比較した，アロー形ネットワーク工程表の特徴に関する記述として，**最も不適当なものはどれか。**

1. 各作業の関連性が明確である。
2. 計画と実績の比較が容易である。
3. 各作業の余裕日数が容易に分かる。
4. 重点的管理をすべき作業がよく分かる。

[No. 49] 図に示す品質管理に用いる図表の名称として，**適当なものはどれか。**

1. レーダーチャート
2. 管理図
3. 特性要因図
4. パレート図



[No. 50] 絶縁抵抗測定に関する記述として，**不適当なものはどれか。**

1. 測定前に絶縁抵抗計の接地端子(E)と線路端子(L)を短絡し，スイッチを入れて無限大(∞)を確認した。
2. 200 V 電動機用の電路と大地間を，500 V の絶縁抵抗計で測定した。
3. 対地静電容量が大きい回路なので，絶縁抵抗計の指針が安定してからの値を測定値とした。
4. 高圧ケーブルの各心線と大地間を，1 000 V の絶縁抵抗計で測定した。

〔No. 51〕 停電作業を行う場合の措置に関する記述として、「労働安全衛生法」上、誤っているものはどれか。

1. 作業の指揮者は、作業員に作業方法等を周知させ、作業を直接指揮した。
2. 検電器具で停電を確認したので、開路した高圧電路の短絡接地を省略した。
3. 開路した開閉器に通電禁止の表示をしたので、監視人の配置を省略した。
4. 開路した電路に電力コンデンサが接続されていたので、残留電荷を放電した。

〔No. 52〕 物体を投下するときに投下設備を設け、監視人を置く等の措置を講じなければならない高さとして、「労働安全衛生法」上、定められているものはどれか。

1. 1.5 m 以上
2. 2 m 以上
3. 3 m 以上
4. 5 m 以上

※ 問題番号 [No.53]～[No.64] までの 12 問題のうちから、8 問題を選択し、解答してください。

[No. 53] 一般建設業の許可を受けた電気工事業者に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 二以上の都道府県の区域内に営業所を設けて営業しようとする場合は、それぞれの所在地の都道府県知事の許可を受けなければならない。
2. 発注者から直接請け負った電気工事を施工する場合は、総額が政令で定める金額以上の下請契約を締結することができない。
3. 電気工事を請け負う場合は、当該電気工事に附帯する他の建設業に係る建設工事を請け負うことができる。
4. 営業所ごとに置く専任の技術者を変更した場合は、変更の届出を行わなければならない。

[No. 54] 建設現場に置く技術者に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

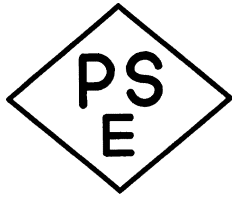
1. 2 級電気工事施工管理技士の資格を有する者は、電気工事の主任技術者になることができる。
2. 主任技術者は、当該建設工事の施工に従事する者の技術上の指導監督の職務を誠実に行わなければならない。
3. 専任の者でなければならない監理技術者は、発注者から請求があったときは、監理技術者資格者証を提示しなければならない。
4. 発注者から直接電気工事を請け負った特定建設業者は、請け負った工事について、下請契約を行わず自ら施工した場合でも、監理技術者を置かなければならない。

[No. 55] 電気工作物として、「電気事業法」上、定められていないものはどれか。

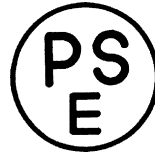
1. 水力発電のための貯水池及び水路
2. 電気鉄道の車両に設置する変電設備
3. 電気事業者から電気鉄道用変電所へ電力を供給するための送電線路
4. 火力発電のために設置するボイラ

[No. 56] 特定電気用品に表示する記号として、「電気用品安全法」上、正しいものはどれか。

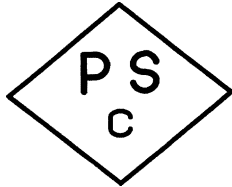
1.



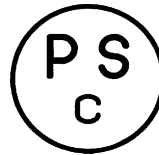
2.



3.



4.



[No. 57] 自家用電気工作物において、第一種電気工事士が従事できる作業として、「電気工事士法」上、誤っているものはどれか。

1. 接地極を地面に埋設する作業
2. 6 kV の高圧配電盤を造営材に取り付ける作業
3. 600 V を超えて使用する電動機に電線を接続する作業
4. ネオン用として設置するネオン管に電線を接続する作業

[No. 58] 登録電気工事業者が、一般用電気工事の業務を行う営業所ごとに置く主任電気工事士になることができる者として、「電気工事の業務の適正化に関する法律」上、定められているものはどれか。

1. 第一種電気工事士
2. 認定電気工事従事者
3. 第三種電気主任技術者
4. 一級電気工事施工管理技士

[No. 59] 建築設備として、「建築基準法」上、定められていないものはどれか。
ただし、建築物に設けるものとする。

1. 避雷針
2. 昇降機
3. 誘導標識
4. 煙突

[No. 60] 消防設備士に関する記述として、「消防法」上、誤っているものはどれか。

1. 甲種消防設備士の免状の種類は、第1類から第5類及び特類の指定区分に分かれている。
2. 乙種消防設備士の免状の種類は、第1類から第7類の指定区分に分かれている。
3. 自動火災報知設備の電源部分の工事は、第4類の甲種消防設備士が行わなければならない。
4. 消防設備士は、都道府県知事等が行う工事又は整備に関する講習を受けなければならない。

[No. 61] 事業者が労働者に安全衛生教育を行わなければならない場合として、「労働安全衛生法」上、定められていないものはどれか。

1. 労働災害が発生したとき
2. 労働者を雇い入れたとき
3. 労働者の作業内容を変更したとき
4. 省令で定める有害な業務につかせるとき

[No. 62] 建設業における安全管理者に関する記述として、「労働安全衛生法」上、誤っているものはどれか。

1. 安全管理者を選任すべき事由が発生した日から14日以内に選任しなければならない。
2. 常時使用する労働者が50人以上となる事業場には、安全管理者を選任しなければならない。
3. 安全管理者を選任したときは、当該事業所の所在地の都道府県知事に報告書を提出しなければならない。
4. 安全管理者に、労働災害の再発防止対策のうち安全に係る技術的事項を管理させなければならない。

[No. 63] 使用者が労働者名簿に記入しなければならない事項として、「労働基準法」上、定められていないものはどれか。

1. 労働者の履歴
2. 労働者の労働日数
3. 労働者の従事する業務の種類
4. 労働者の退職の年月日及びその事由

[No. 64] 建設工事に伴って生じたもののうち産業廃棄物として、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」上、定められていないものはどれか。

1. 汚泥
2. 木くず
3. 紙くず
4. 建設発生土